

令和4年度6月議会で一般質問させて頂きました。→のQRコードから一般質問の動画をご覧いただけます。お忙しい方のために概要をまとめたいと思います。



【1】特定空き家・空き家バンクについて

問 特定空き家の認定はいつからどうやってやるのか？どのくらいあるのか？
※特定空き家とは1年以上管理されていない周辺に著しく悪影響を及ぼす物件を指す

答 協議会で話し合った基準を元に市の職員が調査・判定を実施する。認定結果は協議会に報告する。特定空き家となる可能性が高い物件が106件

問 空き家バンクはいつから始まる？どのように募集する？耐震基準を満たしていない物件も取り扱う？リフォームを補助する政策はある？

答 早期の開始を目指し準備している。募集方法は市の広報やホームページの他に所有者に案内を送る。耐震基準を満たしていない物件は対象外。空き家リフォーム制度を予定している。

【2】教員の労働時間について

問 学校の教師は残業代ないのに時間外労働が多くない？理由は？対策は？

答 時間外勤務は小学校で4.5時間、中学校で5.9時間。教科指導の他に学年学級事務、研修、出張、部活動指導、生徒指導、保護者対応など多くの業務を抱えていることが要因となっている。部活動指導員や教諭補助員を配置している。部活動の地域移行が進んでいくと予想される。

【3】ロケツアーリズムについて

問 予算の内訳は？人手は足りているか？民間団体はどのような活動をする？

答 セミナーや制作会社と自治体のマッチング大会の参加費、ロケ地検索サイトの掲載料、ロケハンツアーの実施、業界雑誌への掲載、ロケ地マップの作成など。人手については会計年度任用職員を1名採用。民間団体はロケ弁、宿泊施設の手配、撮影現場の立ち合い、制作会社の支援など。

【4】刑部岬展望館について

問 展望館に売店作れない？駐車場にキッチンカーの出店は？遊歩道の整備は？灯台から港にジップライン作りたい。

答 2階の展示室で飲食や販売をするスペースがある。キッチンカーは実施に向けて調整したいと考えている。遊歩道は年2回ほど除草作業をおこなう。地元と協力しながら適正に管理していく。

【5】ワクチン接種について

問 データが少ないと安心して打てないので県や保健所からデータをもらえないか？

答 難しい



永井見聞録 活動報告

令和4年8月

第4号



これだけは言わせてほしい！

■2号議案に反対した理由

2号議案「旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について」という長々とした議案ですが、簡単に言うと「選挙活動の公費負担の上限を少し上げます」という議案です。その中の一つにポスターの上限を39万336円から39万8392円に上げるとあります。上がり幅は微々たるものですが、値上げの根拠があいまいです。ポスターを152枚作るのに40万円もかかるのでしょうか？業者にポスターを依頼すると『公費負担の上限額』と見積りて言われました。こちらが仕様や枚数を伝える前にです。こんな業者が少なくありません。実際に私は2万5900円で200枚作れました。デザインも写真撮影も自分でやったので単純には比べられません。40万円はぼったくり過ぎだと思います。なぜこんなにも足をみられるのでしょうか？それは税金だからです。『どうせ税金なんだからアナタの懐は痛まないでしょ』と言わんばかりです。こういう感覚が公には多くて、コスト感覚が民間より低いです。これを許してしまうと他の事案も指摘できません。自らを律していけないと厳しく行政を監視できません。そんな細かいことより大きなビジョンを描いた方が良く思われるかも知れません。しかし、このコスト感覚の欠如があることによって全体で数億円の損失があると思います。税金を数億円増やすのはとても大変です。無駄を省いてそれを子育て支援や教育等に使えるようにしたいです。そんなコスト感覚に一石を投じるために2号議案に反対しました。

■全会一致を原則したら何も始まらない

議会の慣習の中に「根回し」があります。議案や意見書を出す前に全員からの賛同を得なければ発議することもできません。本来なら二人の賛同議員がいれば「発議」できます。発議案提出→議会→委員会→討論→採決になり賛成多数なら議決されます。しかし、旭市議会では委員会全員の賛成が必要であったり、全会一致が好ましいと先送りにされます。これでは議会から何も生まれません。執行部が出してきた議案に賛成するだけになってしまいます。活発な市町村では議員から発議案がハードルなく提出され否決されることも多いです。出される前に潰されるよりは、条例通りに発議案が受理され議会内で否決して欲しいと願います。水面下でのやり取りよりも議会の中で判断して頂き賛否が示された方が透明で開かれた議会になると思います。議案を通すためには根回しが必要だとは思いますが全会一致の原則は有害だと思います。

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などございましたらお気軽にご連絡下さい。この発行物に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

発行元
旭市議会議員
永井孝佳
〒289-2706
千葉県旭市下永井574-1
090-9332-1632
bbnagai@yahoo.ne.jp

消防団について

消防団の寄付金（協力金）問題が顕在化しています。消防団員は非常勤の公務員になるので、寄付を求める行為が違法にあたるという意見が出ています。市から払われる1年間の一般団員報酬は2万5千円で、訓練や活動などが年間40日くらいあるので市からの報酬だけでは賄いきれません。今までの慣習では地域から寄付金を頂き維持してきましたがこれが出来なくなります。さらには少子化や消防団離れて人員の確保も難しくなっています。任期が5年程の部もあれば自分の息子と交代する部もあります。こんな状況では持続は難しいです。皆様の意見をいただきながら消防団の今後を考えていきたいと思えます。まず基本情報として旭市は人口6万4千人に対して消防団員が769人います。標準団員数や人口密度などで算出すると450人くらいが適正人数と言われています。ですので徐々に団員数を減らしていき、一人当たりの団員報酬を増やしていくべきではないでしょうか。団員報酬が5万円になれば地区から寄付金をもらわなくてもやっていけるはずで、それと女性消防団員も積極的に受け入れていくべきだと思います。地域のために活動したい女性もいます。それを受け入れる体制を作らないといけません。意識も変える必要があります。セクハラやパワハラなど男性だけの団体より気をつけなくてはなりません。男女混成の団体になってクリーンに活動をすればイメージも変わっていきます。もう一つの問題は『操法』と『出初め』です。操法とは毎年6月に開催される大会です。実際に水を出して標的に当てるまでのタイムと正確さを競います。趣旨は良いのですが練習に無理があります。1か月、週5で夜間練習を行います。これが大きな負担になります。訓練は大事ですが競技としてやる必要はないと思えます。火事場や災害の現場に必要な技術や知識を習得する事が大事です。操法の廃止（希望者のみ）を提案します。出初め式も同じです。負担が大きいです。12月の訓練で予行練習をやり、1月の初旬に出初式があるのですが一番寒い時期に早朝6時30分に集まってリハーサルです。一般団員はただただ「気を付け」と「休め」を繰り返します。

お昼前には終わりますが「やりたくない」という意見を多く聞きます。受賞者や役員だけで室内で開催する事を提案します。現場と意見交換をした上での率直な声です。

旭市の今後を考える・・・

旭市は良い市だと思います。しかし、現状を維持していけば人口は減り若者も減り先細りしていきます。これを変えるなら今しかありません。大胆な変革が必要です。兵庫県明石市のように子育て支援に特化して成功している事例もあります。財源には限りがありますので選択と集中が必要になります。行政サービスが悪くなる場面も多くなります。支所がなくなり、学校が統廃合され、多くの施設は廃止されていきます。ご不便をおかけしますが市の未来のためにご容赦ください。市の財政を良くする方法は三つしかありません。【税金を増やす】【無駄を減らす】【生産年齢人口を増やす】です。お年寄りが多い市は財政が厳しくなります。若い人を増やさないとなりません。出生率を上げる、若者の移住者を増やす、大学や専門学校で都会に行った若者が帰って来れる就職先を作る、これらを実現していくべきです。コロナウィルスが収まって気軽に集まれるようになったら意見交換をしましょう。議員の有志で機会を作ります。皆様が何を望んでいるか、何に不満を持っているかを聞きたいです。メールや電話やSNSでもご意見をお伺いしますのでお気軽にご連絡ください。

4月～7月の主な活動

この期間は夏のイベントが多かったので「議員活動」より「まちおこし活動」がメインになりました。企画、運営に関わった主な事業は・・・

(1)ミスあさひコンテスト

旭市の魅力を内外に広報してくれる女性をコンテストで選びました。7月9日に3名の女性が選ばれました。任期は1年間で十数件の広報活動を担当して頂きます。

(2)七夕実行委員会

何回も会議を重ねた結果「飾り付け」「サマーセール」をやることになりました。コロナに振り回された3年間ですが、通常開催に向けての一步目として踏み出すことになりました

(3)YOU遊フェスティバル実行委員会

7月31日にステージショーとバザーとビーチバレーを開催しました。感染対策に留意しながら大きな問題もなく無事に終える事ができました。

(4)ロケツアーリズム&おっぺし隊

旭市に撮影を誘致して知名度を上げる事によって「ふるさと納税」を増やしたり、観光客、移住者を増やそうという官民合同の事業です。「おっぺし隊」というのは撮影を後押しする民間団体です。主な仕事は『宿泊場所の確保』『ロケ地の手配』『ロケ地の紹介』『エキストラの用意』『現場のお手伝い』などをサポートします。

(5)ビーチバレー委員会

7月31日に40チーム200人の参加をしていただき無事に開催できました。5年ぶりという事もあって大変盛り上がりました。飯岡は海開きできませんでしたが有効活用の方法を考えていきたいと思えます。

(6)あさひの芸術祭（あさげー）

芸術を観光や移住に結び付ける活動をしています。アーティストと旭市をより良い街にしたい人達が集まり周遊型の芸術祭開催を目標に動いています。